

これからの探究学習

校長 河口尚志

経済産業省が2022年に「未来人材ビジョン」を公表し、転換期の日本の人材政策に具体的な施策を提言しました。未来人材ビジョンとは、未来を支える人材育成に方向性を示し、取り組むべき具体策をまとめたレポートです。脱炭素とデジタル技術の革新をキーワードに、「問題発見力」「的確な予測」「革新性」といったスキルをもつ人材が強く求められるとされます。

その中の「教育」の章を見ると、「知識」の習得と「探究力」の鍛錬、という2つの機能に分かれて提言されています。

「探究力」では、自分が社会における課題の解決者となる自覚をもって、協働的な学びができる機会を作っていくことが求められています。

また、このビジョンの「結語」の中の2つ目に、「好きなことに夢中になれる教育への転換」と示されています。学校以外のサードプレイスに知的好奇心を発揮できる場所づくりに向け、企業も含めた全国的なネットワークの創設などが提案されています。



前置きが長くなりましたが、この提言及び渋谷区教育委員会のこれからの教育の方向性を受け、本校でも今年度、「探究」学習に取り組んでいます。

探究学習とは、生徒自身が自分で問題を設定し、その問題を解決するために情報を収集・分析し、意見を交換したり協働したりしながら進める学習活動のことです。

本校では特に今年度からこの探究学習に取り組んでいます。まず今回は5年生の取組を紹介します。5年生は「シブヤ未来科」(総合的な学習の時間)の中で、大テーマ「人類がこの地球で暮らし続けていくために」を掲げ、個人の探究学習に取り組んでいます。

第1回目は「TOPPAN」という企業の方をお呼びし、食品ロスについて考えました。

追究したい課題を決め、個人やグループで新しいアイデアを考えました。

第2回目は「テトラパック」という企業の方をお呼びし、地球規模の様々な問題について考えました。

その中の食品や生ごみ問題に触れ、これらをなくすためにできる具体策を個人やグループで考えました。たくさんのアイデアを実行に移しつつあります。

このように、各学年に応じた「探究」学習を考え、実践しています。

今後これらを、学校全体や渋谷区に発信していこうと子供たちは考えています。

探究学習、進んでいます。

